

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和 4 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	ゼロカーボンシティ実現に向けた再生可能エネルギー導入促進等に関する調査研究事業	
補助事業者名	水戸市	
補助事業の概要	公共施設の現状を踏まえたゼロカーボン研究会や先進事例及び民間事業者からのアイデアを踏まえた有識者との地球温暖化対策検討会を開催し、新たな施策の創出に向けて課題や推進方策の整理を行う。	
総事業費	7,477,074 円	
補助金充当額	7,477,074 円	
定量的目標	<p>&lt;短期的な目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策検討会 実施回数：6 回（有識者 1 人 2 回×3 人）</li> <li>新たな取組の創出に向けたゼロカーボン研究会の開催 実施回数：2 回</li> </ul> <p>&lt;中期的な目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本事業を実施する中で提案された新たな取組の事業化を図ることで、本市における再生可能エネルギーの導入促進等を加速させ、ゼロカーボンシティの実現につなげる。</li> </ul>	
補助事業の成果及び評価（事業ごとにあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策検討会 専門的な知識をもつ有識者 4 名と各 2 回ずつ計 8 回（1 回約 2 時間）の検討会を実施した。検討会では、水戸市地球温暖化対策実行計画（第 2 次）やゼロカーボン研究会で検討された再生可能エネルギー等に係る施策について、有識者と意見交換し、施策の課題や実現性を検討することができた。</li> <li>ゼロカーボン研究会 庁内の関係部署の職員 30 名による全 4 回（1 回約 3 時間）のゼロカーボン研究会を実施した。研究会では、様々な分野に精通する職員の知識を生かしながら、先行事例等を踏まえた再生可能エネルギー等に係る新規施策の検討を行うことができた。</li> </ul>	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	専門的な知見を有する業者に委託することで、適正かつ円滑な業務の実施が期待できるため。
	契約の方法	随意契約（プロポーザル）
	契約の相手方（間接補助先）	株式会社富士通総研
	契約金額（間接補助金額）	7,477,074 円
来年度以降の事業見通し	<p>本事業で検討した内容を踏まえると、本市のゼロカーボンシティ実現のためには、太陽光発電を一層普及させ、市内の再生可能エネルギー量を増やすとともに、創られたエネルギーを次世代自動車等のエネルギー源として有効活用することが重要である。このため、公共施設や公有地への太陽光発電及び次世代自動車充電設備の可能性を調査した上で、効果的な導入を図り、市内の再生可能エネルギー普及、ひいては、ゼロカーボンシティ実現を目指す。</p>	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。